

様式第4号



令和4年度 補助金決算効果報告書

令和5年4月24日

府中市長様

事業所の所在地 府中市府川町315番地

会派名 公明党

代表者名 大本 千香子

府中市補助金交付規則第10条の規定により、次のとおり事業実績及び収入支出決算を報告します。

(1) 事業実績

- 1 事業名 政務活動費
- 2 補助金額 259,837 円
- 3 補助金の効果
 - 1) 衆参議院会館にて、広島県選出の国会議員に府中市の抱える課題解決のため陳情書を提出し、要望を行いました。その後、農業政策と子どものスマホ使用の影響についての研修会を行い、農業を魅力ある産業となるよう付加価値やアイデアで儲かる産業にしなければならないこと、また、子供のスマホ使用はルールや健康被害などのさまざまなリスクなどの広報が必要であることを感じました。
 - 2) 全国市議会議長会フォーラムに参加し、これからの議会にはDXの推進は急務であり、オンライン化などへの環境整備が必要であること、議事録や住民とのコミュニケーションを確保するためのオンライン化や住民手続きのオンライン化などの整備していかなければならない課題も見つかりました。
 - 3) ひとり親支援プロジェクトについては、単にひとり親の支援ではなく、

ひとり親の家庭が自立できるよう個別のニーズ調査が行われていて、総合的な支援となるよう自立応援プロジェクトがなされていました。ひとり親の自立に向けて一人一人に寄り添った対応をおこなう努力がされており、本市においてもきめ細かなニーズ調査がされているか確認したい。

- 4) 交通空白地対策における公共交通の導入については、府中市の特性に合わせて、公共交通に偏らない、さらには生活者のニーズに合った移動手段を発想の転換をしながら確保することの重要性を感じました。
- 5) MAGOボタン事業の取り組みは、高齢者や一人暮らしの方の生活を明るくしていて、優しいまちづくりをされていると感じました。本市においてチャレンジするとなるとまずは、地域やエリア限定しておこなうこととすれば可能ではないかと感じました。
- 6) 行政に係る重要な計画の議決等に関する条例については、二元代表制の一翼を担う議会としても計画に積極的に関わることで、市民にも開かれた透明性の高い市政になるため、本市においても検討をすすめるべきと感じました。
- 7) 議会サポーター制については、本市でも議会サポーター制の導入の検討をされ、サポーターとの意見交換会などを行い、議会の理解者を増やし、意見や要望などをいただく機会を増やすべきと感じました。

4 その他

改選後からの活動であることと、コロナ禍での活動と重なり、先進地への調査研究が計画しにくい中ではありましたが、快く受け入れをいただきました自治体に感謝するところであり、有効に政務活動費を活用させていただきました。思うような計画どおりに調査研究が行えず、返還金がありましたが、今後もコロナ禍での活動となることは必須であり、新たな活動方法も含め検討しながら、府中市に対して、必要な提言が行えるよう取り組みを続けてまいります。

令和5年度は

- ・ 市政報告の発行
- ・ 市政報告会の開催
- ・ DX推進への取り組みの研究

- ・ コロナウイルス感染症対策と課題調査
- ・ 防災・減災に対する調査・研究
- ・ 府中市の観光事業・魅力発信力の向上の研究
- ・ 府中市地域包括ケアと病院運営のあり方などの研究・調査
- ・ 産業支援や農業支援の調査・研究
- ・ 若者や女性の活躍する地域づくりの調査・研究
- ・ 府中市の課題解決に向けたさまざまな先進的取り組みの調査・研究
- ・ 議員提案条例策定の研究

などを計画しており政務活動費を活用したいと考えています。

